

## 開会の挨拶

国際交流学部学部長 本間 慎

本年の四月に私達の学部国際交流研究科の大学院が創立されました。マスターコースとドクターコースとが同時に出発します。幸いに大変に高い評価を得て、マスターでは二十数名の受験生がおりましたし、ドクターには三名の受験生がおりました。その中には社会人もだいぶ受験されました。非常にユニークなのは、五〇歳近い方でありますが、映画監督でありまして、中東や東南アジアでODAに基づいた映像をつくるにあたってもう少し社会科学的な勉強をしたい。中東や東南アジアのそれぞれの文化、歴史、あるいは国際情勢だとか、そういうものを知ったうえで映画を撮り続けたい。そのために大学院に入りたいということで、あらためて進学されたのです。そういうことで、社会人も大勢入学されております。

したがって、皆さんの中からも、来年、ぜひ大学院を受験していただければと思います。今日ご参集の皆さんの中から受験者が出るかどうかはきょうの講演会が大きな契機になるものと、われわれ緊張いたしております。